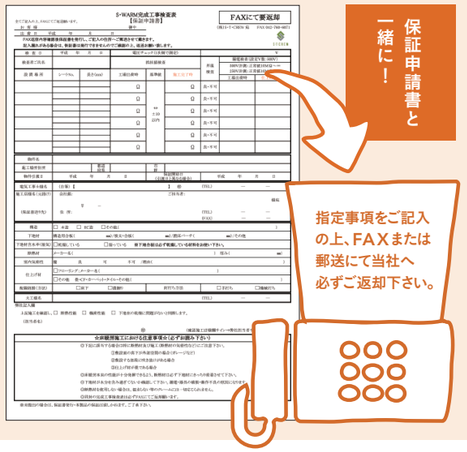
保証書発行までの流れ　The flow to guarantee issue

1. 現場合成抵抗値の測定・確認
2. 絶縁抵抗値の測定
3. 昇温検査
4. 床仕上げ後、再度絶縁抵抗値、ボルト数の確認
5. 現場住所の記入
6. 施工して頂いた電気工事士様の記入
7. 保証書送付先の記入

仮設電源が取れない場合は③昇温検査は省略しても構いません。
(本設引込後に昇温検査・試運転を行って下さい)

完全工事検査表（チェックシート）記入を確認

必ず、合成抵抗値測定、漏電、昇温の検査を行い、ご記入下さい。



保証書の発行

申請書をご返却後、記入漏れ・数値の検証を行い、異常が無ければ保証書を発行いたします。
【10年保証・諸手続き完了後最長30年まで更新可能】

必ず完成工事検査表（チェックシート）のご返却をお願いいたします。
記入漏れがございますと、保証書の発行が出来ない場合が有ります。

保証書発行に関する施工規定

右記の表にはS・WARMを正く安全に施工して頂く為の施工方法・注意事項事前確認事項等を記載しております。
よくご理解して頂いてから施工して頂くようにお願いします。
万が一内容と異なる施工や条件で施工して、事故が起きた場合は、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

株式会社 S・T・CREW　S・WARM
保証書発行に関する施工規定

安全に関する注意　The cautions about safety

- ソファー・テーブル・家具等を、床暖房の上に置く際は必ず床から3cm以上空間のある物を使用して下さい。
- 床暖房の上に、水や液体をこぼしたまま長時間放置しないようにして下さい。
- 長時間同じ場所に肌が触れていると、低温やけどをおこす危険性があります。
- 直接床暖房の上でお休みにならないで下さい。
- 乳幼児やお年寄りの方、皮膚の弱い方や病気の方のご使用は、特に注意が必要です。
- この商品は、単層200V専用です。その他の電源は使用できません。
  器具の破損や火災の原因になる恐れがあります。
- 厚みのあるカーペットや保温性のある物（ゴム性質の物）などを直接置かないで下さい。
  仕上げ材の変色や、熱がこもる場合があります。
- 湿気や水を使う場所、屋外などへの使用はできません。
- 温熱フィルムは、コントローラの規定容量を超える枚数を接続しないで下さい。
- 仕上げの床材には床暖房対応の物を必ず使用して下さい。
- コントローラの機能に異常が発生した場合は、すぐにブレーカーをオフにし販売店に連絡して下さい。
- 長期間使用しない場合は、電源ブレーカーを必ずオフにして下さい。
- 施工時には規定の配線を使用し、必ず電気工事士による適正な施工を行って下さい。
  誤施工は漏電や感電の恐れや器具の破損の原因になります。
- 施工手順をよくお読みの上、確実な施工を行って下さい。
- ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

製品詳細　Details of a product

床暖房 S・WARM

商品名		床暖房　S・WARM
品番		ST-SW303
使用電圧（V）		200V（単相3線）50/60Hz
仕上寸法	幅×長さ（mm）	幅 580mm× 長さフリー（303mmピッチ）
	厚み	約 0.3mm
材質	材質	PET 強化樹脂
	発熱体	高導電性カーボンペースト
コントローラ使用時電力	最大定格（W/㎡）	200W/㎡（主に起動時）
	安定定格（W/㎡）	50W/㎡（主に保温時）
温度調整		コントローラによる自動制御
販売価格		22,000 円 / ㎡

床暖房 S・WARM コントローラ

商品名		床暖房　S・WARM コントローラ
品番		STC-151（1面制御用） STC-152（2面制御用）
コントロール方式		リレー開閉制御方式
回路		200V：15A×1面　7.5㎡まで
パネル寸法	幅×長さ×厚み（mm）	116mm×120mm×50mm
開口寸法	幅×長さ（mm）	90mm×70mm
入力電源電圧		単相 200V
入力電源周波数（Hz）		50Hz/60Hz
タイマー機能		有（タイマー運転、追加運転、予約運転）
販売価格	STC-151	60,000 円 / 台
	STC-152	65,000 円 / 台

■STC-151【1面制御用】

■STC-152【2面制御用】

S・T・CREW

■ 製造・販売元　**株式会社 S・T・CREW**　〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢 1648-6　TEL:042-703-6686　FAX:042-703-6697

■ S・WARM 各種認定・工場認定　ISO1400I認証　ISO900I認証　PL保険加入/賠償責任保険普通保険約款+生産物特別約款

S・WARM は低価格・省電力。家計に優しく経済的、環境にも優しい床暖房です。

www.st-crew.jp

安心で安全な床暖房システム S・WARM（エスウォーム）

施工要領書

本書は商品を正確により安全に、取付・施工して頂く為の注意事項や施工方法が記載してあります。
良く理解をして頂いた上での取扱いをお願い致します。

暮らしを暖かく——。

S・WARM
FLOOR HEATING

⚠ 施工を始める前にご覧下さい ⚠

施工要領書に基づき正しく確実な方法で安全に施工して下さい。
万が一本書と異なる施工を行い事故が発生した場合の責任は負いかねます。

釘打ち可能部分以外への釘打ち

乱雑に扱い、傷をつける行為

エスウォームの上は土足厳禁！

踏み付けて折り曲げる行為

注意事項

施工手順

01 施工前の清掃

敷設面の下にゴミが入ったまま施工すると床鳴りや、傷によるフィルムの破損・漏電の恐れが有ります。

リール釘のワイヤー残りなどに注意しましょう！

02 温熱フィルム敷設面の墨出し

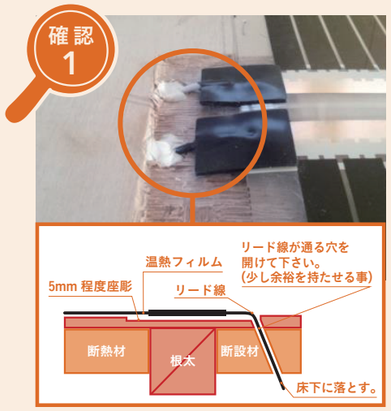
フロア貼り方向、貼り始め位置の確認、配線方法、接続ボックスの位置、コントローラの位置を確認。

墨出しを正確に！

03 配線経路及び配線溝または穴加工

敷設部分に墨を出し、座彫、穴開け位置を決定します。

確認1



04 S・WARMシートの敷設

敷設時にS・WARMのロゴマークが裏向きにならない様にご注意いただき、動かないよう養生テープで固定します。

折れ曲がったり、傷の付いたS・WARMは使用できません！

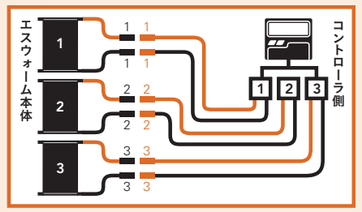
05 配線キットでの送り込み作業

配線は、フィルム1枚に対して1本取り付けます。

06 フィルム側リード線と配線キットを接続

フィルム側と配線キットにはそれぞれ番号があります。同じ番号同士、黒白分けて付属のカプラーにて接続します。

■ 配線イメージ図



07 接続完了後、合成抵抗値の測定

接続後、敷設面毎に抵抗値を測定します。
工場抵抗値との差が±10以内であれば合格です。
数値が大幅に違う場合は担当者までご連絡下さい。

チェックシートへの記入！

08 仕上げフロア施工

電極、発熱体への打ち損じ、または、器具を傷つけないよう、釘打ちには十分ご注意下さい。
糊をご使用いただく場合には、必ず、床暖房専用のものをご使用下さい。

確認2

器具を傷つけないように、釘打ちには十分ご注意下さい。

09 絶縁抵抗値の確認

仕上げ材のフロア貼り完了後、絶縁抵抗値（MΩ）を測定します。
正常な範囲から逸脱している場合は、速やかに担当者までご連絡下さい。

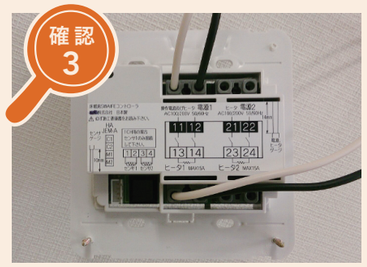
チェックシートへの記入！

コントローラは必ず外して測定して下さい。

10 コントローラへの繋ぎ込み

1次側（電源）と2次側（フィルムからの配線）をそれぞれコントローラへ繋ぎ込みます。
※200Vのみ使用

確認3



11 試運転の確認&引き渡し

最後にコントローラの試運転を行い、昇温検査を行ってください。
赤外線温度計等の測定器がない場合でも体感で温度上昇が確認出来れば問題はありません。

チェックシートへの記入！

設置工事は終了です。
検査や保証については
裏面をご覧下さい。

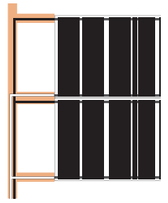
設置工事完了後

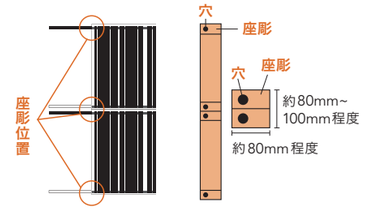
建築工事引き渡し日までは、誤運転や誤作動防止の為、必ず床暖房専用ブレーカーはOFFの状態にして下さい。

Construction process

確認1 リード線の処理

下地に溝を作り、リード線を這わせる。
配線の本数によって溝の数は調整して下さい。





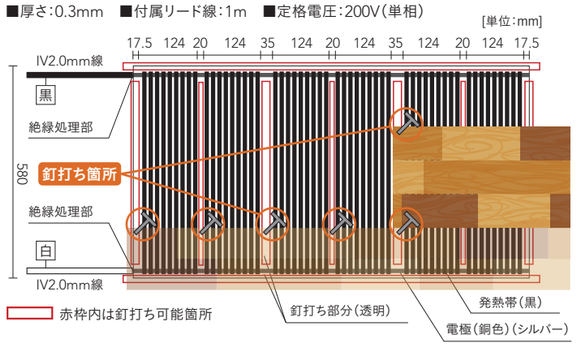
■ 置き床や、床下に施工スペースが無い場合

■ 戸建てや床下に人が入れる場合

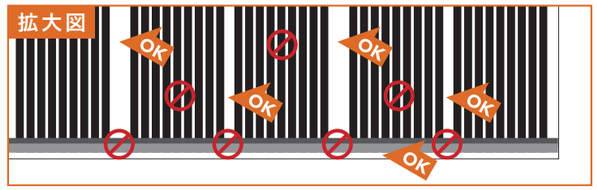
確認2 釘打場所の確認

遠赤外線カーボンフィルムS・WARM

■厚さ：0.3mm ■付属リード線：1m ■定格電圧：200V（単相）



拡大図



OK…釘打ち可能な場所です。（無色透明） ⊘…黒、シルバー、銅色の部分は**釘打ち禁止**部分です。

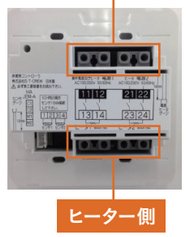
フロア施工時は、銅、シルバー部分をまたぐように敷設してください。

！フィルムの透明部分以外に、釘は打てません。

左図にある赤枠内のみ釘打ちができます。黒、銅、シルバー部分に釘は打てません。誤って黒い部分やシルバー、銅の部分に釘を打ったり、傷つけたりした場合は、フィルムを新品と交換する必要があります。

確認3 電気配線

※アース視線は必要有りません。温度センサーは使用しません。



1	単線φ1.6mm～2.0mmを**14mm**皮むきして下さい。 皮むき線長が短いと接触不良、長いと他回路とのショートにより発熱し危険です。
2	繋ぎ込みの際、挿入感があるまでしっかり**奥まで差し込んで**下さい。 ヒータ回路につき、奥まで挿さないと接触不良により発熱し危険です。
3	挿入後、軽く引っぱり抜けないことを確認して下さい。 ※1回路のみ使用の場合は、必ずヒーター1に接続して下さい。 ※2回路使用の場合は、必ずヒーター2用電源を接続して下さい。
4	ケース部をはさみ金具などを用いて壁に取り付けて下さい。 取付ネジを締め付ける際は、電線の収まりに注意し、**無理のないよう締め付けて**下さい。 無理に締め付けすぎると、本体が変形してフタの開閉に支障をきたしたり、カバー部が外れやすくなるなど、製品の商品価値を損ねる場合があります。
5	カバー部「上」を天側にしてケース部に取付けて下さい。 ケース4隅の凸部を、カバーの凹部にしっかりとかみ合わせてください。 また、コネクタが奥までかみ込むようにカバー部右2隅をしっかりと押し付けて下さい。 勘合が不十分だとカバー部が外れたり、誤動作のおそれがあります。
6	カバー部取外し時は、コントローラ下部の差込口に⊖ドライバーを差込み、カバー部側にこじって下さい。

■ 1次側配線

電源はヒーター1用、ヒーター2用に合わせて18A以内であれば渡り配線で使用できます。

■ 2次側配線

敷設面毎のリード線（白・黒それぞれ）をまとめVVFケーブルと並列で結線して下さい。